

令和6年度公的職業訓練効果検証WG報告書の概要

1. 効果検証対象訓練分野

デジタル分野

2. 対象とした訓練コース

「CAD・NC機械科」、「CAD・ものづくりサポート科」、「ICTシステムサポート科」、
「WEBプログラミング科」、「Pythonが学べるシステムエンジニア科」
「Webデザイナー養成科」、「VBAプログラミング科」

3. 効果検証方法

対象とした訓練コースの修了者のうち就職者（77名）、その就職先事業主（33社）、対象とした訓練コースの実施施設（4施設）を対象にアンケート調査を実施し、その結果をもとに効果検証を実施。

4. デジタル関連就職先について

「① ユーザ企業」、「① インターネット・Web業界」、
「② 情報処理サービスSI業界」、「③ 通信インフラ業界」、
「④ ソフトウェア業界」、「⑤ ハードウェア業界」
・今回の効果検証対象訓練コースの就職先ターゲットについて4，5Pに記載。

5. アンケート結果の概要について

- ・全般的な意見として、職業訓練の制度自体には高評価。
- ・就職先企業からは訓練受講者のスキルに満足しているという意見が多かった。
- ・「訓練実施機関の意見」、「就職先企業の意見」、「受講生の意見」に整理し6，7Pに記載。

6. アンケートを踏まえた提案

- ◆各種ニーズを把握したうえで訓練範囲の随時見直しが必要。
- ◆専門分野のスキル習得に加え問題解決能力等の習得も併せて必要。
- ◆委託料の随時見直しが必要。
- ◆ユーザ企業を主とした就職先とするデジタルリテラシー人材、中でもキーパーソンとなる人材育成の継続が必要。
- ・アンケートを踏まえた提案について「各訓練科ごと」のものと「まとめ」に整理し8，9，10Pに記載。

令和 6 年度
公的職業訓練効果検証WG 報告書
(デジタル分野)

岡山県地域職業能力開発促進協議会WG

目次

1	岡山県内の訓練コース	1
2	就職ターゲットの業界について	3
2-1	業界の概要について	3
2-2	各訓練コースの就職ターゲット業界.....	5
3	アンケート結果の概要	6
3-1	訓練実施機関の意見	6
3-2	就職先企業の意見	6
3-3	受講生の意見	7
4	アンケートを踏まえた提案	8
4-1	CAD・NC 機械科	8
4-2	CAD・ものづくりサポート科	8
4-3	ICT システムサポート科	8
4-4	WEB プログラミング科(短時間).....	8
4-5	Python が学べるシステムエンジニア科（短時間）	8
4-6	Web デザイナー養成科（短期間・短時間）	9
4-7	VBA プログラミング科.....	9
4-8	まとめ	10
5	アンケートの要約	11
5-1	訓練実施機関の意見	11
5-2	就職先企業の意見	13
5-3	訓練受講者の意見	16

1 岡山県内の訓練コース

職業訓練制度は、訓練受講者に対して就職に資する知識・技能・技術を習得させることによって、関連業種・職種への就職を促進し、職業の安定と労働者の地位向上を目的としている。就職先企業から見た制度のメリットとしては、採用後の研修の短縮や意欲的な求職者の採用につながられることがあげられる。

令和6年公的職業訓練効果検証アンケートの分析対象は、以下の7コースである。

No.	コース名	実施機関
1	CAD・NC 機械科	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山職業能力開発促進センター
2	CAD・ものづくりサポート科	
3	ICT システムサポート科	
4	WEB プログラミング科(短時間)	有限会社エヌティ・クリエイト
5	Python が学べるシステムエンジニア科(短時間)	
6	Web デザイナー養成科(短期間・短時間)	学校法人第一平田学園
7	VBA プログラミング科	有限会社 AKI 情報コンサルタント

① CAD・NC 機械科（6 か月）

機械を構成する材料や加工法の基礎知識、CAD ソフト（パソコンで図面を作るソフト）の使い方や機械加工のためのプログラミングについての技術を習得し、工作機械オペレータや CAD オペレータ、機械設計補助への就職を目指す。

② CAD・ものづくりサポート科（6 か月）

機械を構成する材料や加工法の基礎知識、CAD ソフト（パソコンで図面を作るソフト）の使い方や計画的に製品を生産するための基礎知識を習得し、CAD オペレータや機械設計補助、生産管理事務への就職を目指す。

③ ICT システムサポート科（6 か月）

情報インフラの知識を有し、PLC とのネットワークの構築・保守・管理ができ、さらに生産工程管理を理解し、生産管理・在庫管理システムを構築できる基本的な知識と技術を習得する。

④ WEB プログラミング科（5 か月）

Web アプリの開発に必要なプログラミング言語や SEO 対策を始めとした集客・売上アップのためのマーケティングに関する知識を習得し、Web アプリ開発やネットショップ運営への就職を目指す。

⑤ Python が学べるシステムエンジニア科（5 か月）

社内システムエンジニアに必要な IT・DX の基礎知識に加え、経営戦略、システム戦略、プロジェクトマネジメント等の IT 経営導入と管理のための知識とスキル、業務効率化のための Google 等の IT ツール活用スキルを習得し、システム導入プロジェクトを担うための人材を育成する。

⑥ Web デザイナー養成科（1 か月）

DTP デザインや Web デザインに必要なアプリケーションソフトの操作方法や基礎技術の習得および各デザイン業務に必要なスキルの習得し、Web や各種媒体のデザイナーへの就職を目指す。

⑦ VBA プログラミング科（5 か月）

システム開発における各工程（お客様とのヒアリングによる要件定義、各種設計、プログラミング、テスト、運用保守）を訓練の中でプロジェクトチームを組んで習得し、システムエンジニアやプログラマへの就職を目指す。

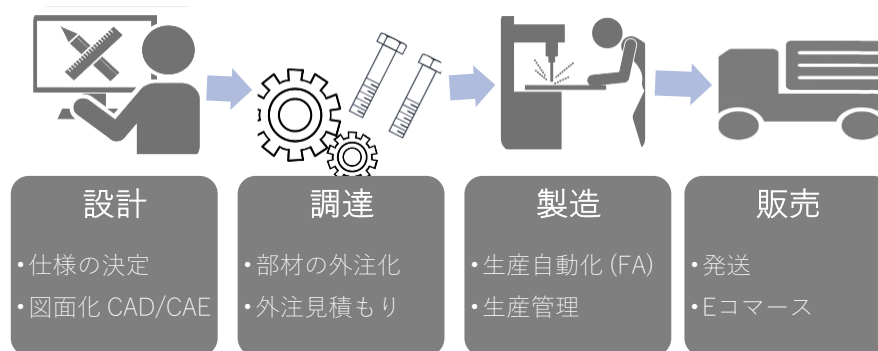
2 就職ターゲットの業界について

2-1 業界の概要について

今回の検証対象となっているコースが目指す業界は、製造業及び IT 業界である。

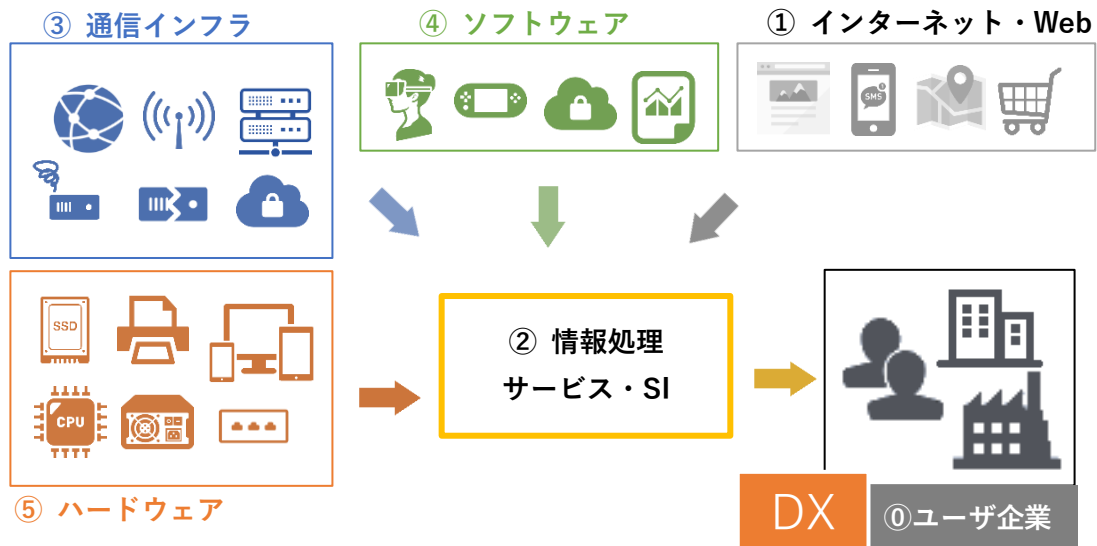
製造業は、機械部品や食品、自動車などさまざまなモノを製造する業界であるが、設計・調達・製造・販売といった工程で消費者（一般消費者や企業）に流通する。

製造や調達に必要な図面やデータの作成には、CAD や CAM といったソフトウェアが使用される。従来は工程ごとに図面を作成し直すなど、手間がかかっていた分野においても、近年は DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、設計から製造まで一貫してデジタルデータでやり取りできるようになっているため、基礎的な IT リテラシー（PC 操作）の能力が求められている。



一般に IT 業は下図のように 5 つの分類に分けることができるが、就職ターゲットとして考えた場合は、さまざまな企業（ユーザ企業）の中で働く IT 職種も考えられる。

IT 業界の全体イメージおよびその概要を示す。



①ユーザ企業

自社 Web サイトや社内システムの構築・運用・保守を行う。経営課題の解決（コスト削減、生産性の向上、業務効率化）に関する業務を行う。

①インターネット・Web 業界

インターネット広告や Web サイトの制作・SNS の運営などを担う。

②情報処理サービス・SI 業界

あらゆる業界や企業の業務を円滑に進めるためのシステムを、企画から運用まで一貫して請け負う。顧客企業が抱える課題を IT（システム）で解決する業界であり、SI（システムインテグレーション）業界とも呼ばれる。

③通信インフラ業界

電話回線や通信網などのインフラを整備・提供す。

④ソフトウェア業界

パソコンやスマートフォンを動かす OS や、特定の作業を行うために使用されるアプリケーションソフトを開発する。

⑤ハードウェア業界

コンピュータなどの電子機器や電子回路などの「モノそのもの」を作る。

2-2 各訓練コースの就職ターゲット業界

各科の訓練目標と今回のアンケート結果から主たる就職先希望業界を表に示す。

訓練コース	就職ターゲット業界
CAD・NC 機械科	製造業（工作機械オペレータ、機械設計補助、CAD オペレータ）
CAD・ものづくりサポート科	製造業（機械設計補助、CAD オペレータ、品質・生産管理事務）
ICT システムサポート科	製造業（品質・生産管理事務） ①ユーザ、②情報処理サービス、 ③通信インフラ、④ソフトウェア、
WEB プログラミング科(短時間)	①インターネット・Web 業界、 ④ソフトウェア
Python が学べるシステムエンジニア科(短時間)	①ユーザ、①インターネット・Web 業界、 ②情報処理サービス、④ソフトウェア
Web デザイナー養成科(短期間・短時間)	①ユーザ、①インターネット・Web 業界
VBA プログラミング科	①ユーザ、②情報処理サービス、 ③通信インフラ、④ソフトウェア

3 アンケート結果の概要

3-1 訓練実施機関の意見

- ◆ 訓練受講者の傾向
 - コミュニケーションや訓練の習得において特別な配慮を必要とする訓練受講者が増加している
 - 職業訓練を複数回受講した上でさらに訓練の受講を希望する者も増加している
- ◆ 就職支援における工夫
 - 訓練受講者の希望に合わせた就職相談を可能にする環境づくり
 - 応募先企業に示すことができる成果物の制作促進
 - 修了後、就職支援を継続するための信頼関係づくり
- ◆ その他の工夫
 - 実務を意識した演習課題の設定
 - 指導員への連絡にデジタルツールを活用する
 - 安全衛生の取組として、訓練生による訓練環境の維持管理（5Sの推奨）
- ◆ 要望
 - 訓練効果を高める機材の導入支援
 - 人件費等の高騰など市場の動向を踏まえた、委託料の見直し
 - 広報に対する手続きの見直し（積極的な広報を実施したい）

3-2 就職先企業の意見

- ◆ 訓練内容
 - 概ね満足しているが、内容をもっと絞ってほしい
 - IT関連職種でなくとも、PCの基本的な使用方法を習得してほしい
 - 訓練で直接学んでいない業務においても、間接的に役立っている
- ◆ 資格取得
 - 訓練受講者のスキルの把握に役立つため、資格試験を取得していることが望ましい
- ◆ その他
 - 基礎的なスキルを前もって習得しているため、採用後の研修が教えやすい
 - 意欲的な求職者の発掘に期待している

3-3 受講生の意見

- ◆ 訓練内容について
 - 訓練で習得した内容が業務においても活用できているため概ね満足している。一方で、訓練コースによっては、広く浅く習得する内容の訓練もあり、就職後に自己研鑽が必要となるため、訓練内容に不足を感じている意見もある
 - 実践的な訓練内容（Web サイト関連であれば WordPress）を学びたい
- ◆ 就職支援について
 - どの訓練コースにおいても、訓練受講者に寄り添った支援を行っており、訓練受講者の満足度も高い
- ◆ その他について
 - 1 日の訓練時間や全体の訓練期間が短い（主に短時間・短期間）
 - 受講前に詳細な訓練内容を把握したい（説明会・体験会があると良い）

4 アンケートを踏まえた提案

今回のアンケートを踏まえ、以下の通り提案したい。

4-1 CAD・NC 機械科

製造業における工作機械オペレータやCADオペレータ、機械設計補助への就職を目指す訓練を実施している。

訓練受講者と就職先企業は訓練内容に概ね満足しているが、訓練受講者より「定められた設計条件から部品の寸法を決定し、図面を作成するスキル」や「各作業の段取りや工程を組むスキル」をより深く学んでおきたかったといった意見があった。

4-2 CAD・ものづくりサポート科

CADオペレータや機械設計補助、生産管理事務への就職を目指す訓練を実施している。

訓練受講者や就職先企業は訓練内容に概ね満足しているが、訓練受講者より「POPの簡単な作成方法」や「図面を短時間で作図するスキル」を身につけておきたかったといった意見があった。

4-3 ICTシステムサポート科

製造業のDX人材育成を目指し、最も幅広い訓練を実施している。県内においても動向として、システムは内製化からクラウドサービスを利用して開発コストや高度化する流れがある。

クラウドサービスに関する知識や技術動向は、社内システムの構築においても欠かせない要素となっており、今後のニーズを踏まえつつ訓練に取り入れることを検討する必要がある。

4-4 WEBプログラミング科(短時間)

Webサイトの構築に必要なプログラミングと集客につなげるためのマーケティングの両面から、インターネット・Web関連の業界への就職を目指す訓練を実施している。

短時間訓練のため、幅広く実施しようとする浅い内容ばかりになることが想定されるが、Webサイト構築に必要な技術面に重きを置いたカリキュラムからは実施機関の工夫が伺える。

訓練受講者に実施されたアンケートには、「ITパスポート試験などの資格の重要性を早めに知っておけばよかった」といった意見があった。入所時や個別面談において訓練受講者に資格の重要性を強調する等の対応があると良い思料される。

4-5 Python が学べるシステムエンジニア科（短時間）

企業内のシステムエンジニア（社内SE）に必要なIT活用による業務効率化やプロジェクトマネジメント手法を習得することによって、システムエンジニアへの就職を目指す訓練を実施している。

短時間訓練のため、幅広く実施しようとするとう浅い内容ばかりになることが想定されるが、マネジメント分野に重きを置いたカリキュラムからは実施機関の工夫が伺える。

訓練受講者に実施されたアンケートには、「システムエンジニアへの就職活動においても、ポートフォリオが必要となるため、それを踏まえたカリキュラムに変更した方が良い」といった意見があがっている。訓練により習得する知識・技能が、訓練コースに設定された職種にマッチしていない可能性がある。

4-6 Web デザイナー養成科（短期間・短時間）

紙資料やWebサイトのデザインに必要なソフトウェアの操作方法やデザイン業務の知識を習得することによって、一般企業のWeb担当者やWebデザイナーへの就職を目指す訓練を実施している。

総訓練時間が93時間と非常に短いことから、Adobeのデザイン系ソフトウェアの操作等に絞ったカリキュラムを設定していることが伺える。

訓練受講者に実施されたアンケートには、「カリキュラムのバランスが悪く、訓練内容に対して時間が短すぎる」、「訓練受講者のレベルに合わせてクラスを分割した方がよい」といった意見がある。訓練受講者の習得度にバラツキがあるものの、訓練の到達水準を訓練開始時に説明し、より高度な知識・技能については、就職後にも自己研鑽が必要になることを促す等の対応が考えられる。

4-7 VBA プログラミング科

習得するプログラミング言語・環境をExcel VBAに絞り、システム開発に必要な知識を習得することによって、システムエンジニアやプログラマへの就職を目指す訓練を実施している。

昨年度の職業訓練効果検証においては、訓練対象者と実際の訓練受講者とでレベルに差があり、ミスマッチの発生が見受けられたが、今回のアンケートにおいては、就職者や就職先企業は概ね満足していることが伺える。これは、訓練コースの広報において、訓練受講希望者に適切な情報を提供できた結果であると思料される。

4-8 まとめ

- ◆ 就職先の幅を広げるため、短時間・短期間の訓練であっても幅広い訓練内容を扱っているが、このことにより訓練受講者や就職先企業からは訓練内容の理解度が低下しているとの意見がある。しかしながら、訓練を一部の業務に特化した内容とすると、訓練受講者の就職先選びに影響がある。このため、各種ニーズを把握したうえで訓練範囲を随時、見直す事が必要。
- ◆ 専門分野のスキル習得に加え、問題解決能力やプログラミング能力の習得が必要。
- ◆ 訓練用機器の導入や訓練の実施に必要な人件費等が高騰しているため、市場の動向を踏まえた委託料を随時、見直す事が必要。
- ◆ 全ての分野において DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が求められている。しかしながら、短期間の職業訓練で DX へ対応するのは現状では困難であることから、昨年度の WG で提案したユーザ企業を主とした就職先とするデジタルリテラシー人材、中でもキーパーソンとなる人材について育成を継続する事が必要。

5 アンケートの要約

5-1 訓練実施機関の意見

問1 訓練受講者の傾向について

- ◆ 最近、増加したと思われる訓練受講者
 - 特別な配慮が必要となる特性を持つと想定される方（手帳の有無は問わない）
 - 就職面接に消極的な若者（正社員の経験が少ない）
 - コミュニケーション能力が低く、他者との適切な距離感を保てない方（人によって近すぎたり、遠すぎたり差が激しい）
 - 職業訓練を何度も受ける方（受講3回目の方が毎年いると報告）
- ◆ 目標意識がしっかりとしている訓練受講者が多く見られる一方、意欲が低い訓練受講者も一定数いる

問2 訓練実施にあたって工夫している点

- ◆ 分かりやすい訓練の実施
 - 身近なものに例える工夫（訓練受講者にとって、訓練は未経験の連続）
 - 説明だけではなく、実際を見てもらい、触ってもらう工夫
- ◆ 実践的能力の向上
 - 実務を意識した演習課題の設定
 - 知識・技能の習得を意識したツールを日常的に使用
- ◆ その他
 - 安全教育を意識付けるため、教室などを常にきれいにしておく（5Sの推奨）

問3 キャリアコンサルティングの状況

- ◆ ジョブ・カードの活用（自己理解を深めるツールとして）
- ◆ 中高年者向け
 - これまでの経験を活かした就職指導（IT系なら、経営的視点、マーケティング）
- ◆ 訓練受講者が希望したときに相談できる環境づくり
 - 放課後や昼休憩を積極的に活用した就職支援
 - 訓練期間中、訓練受講者・教員・専門アドバイザーの三者で面談する機会の設定

問 4 就職支援

- ◆ 関連就職先の企業リストの作成と活用
 - 訓練受講者の希望勤務地にある企業を容易に閲覧できるよう、企業の所在地を示した地図を掲示
- ◆ ポートフォリオの作成促進
 - 主に IT 系就職活動で使用されるポートフォリオとは、自己のスキルを説明するための作品のこと
- ◆ 訓練終了後も連絡が取れる信頼関係づくり
 - 訓練を通じて、日頃から講師が訓練受講者に声掛けを積極的に行っている

5-2 就職先企業の意見

問1 訓練により、得られたスキルで採用後役立っているもの

- ◆ 就職ターゲット職種の基礎的なスキルを前もって習得している
- ◆ 仕事内容に合わせた採用後の研修が非常にやりやすい・教えやすい
 - 「実習で使用した CAD は違いましたが、CAD での作業のイメージが伝わり易く、弊社使用の CAD の作業習得の近道になっていると考えております。」
(CAD・NC 機械科修了者採用企業の意見)
- ◆ 訓練で直接学んでいない業務においても、間接的に役立っている
 - 「コーディング業務は行っていないが、コーダー目線のデザインに少し寄与している」(WEB プログラミング科修了者採用企業の意見)

問2 訓練によって、より一層習得しておくことが望ましいスキル

- ◆ 訓練の内容をより深く学んでほしい
 - 「非常に幅広い範囲での修得ではありますが、やはり時間もあり、浅過ぎる部分も見受けられます。もう少し深く知っておけば、より早く戦力になり得、本人様の自信にも繋がると思います。」(CAD・NC 機械科修了者採用企業)
 - 「実践に必要な基本的スキル、WEB 構築と管理について」
(WEB プログラミング科修了者採用企業の意見)
- ◆ PC の基礎、基本的な使用方法
 - 「フォルダの作成と解凍、ショートカットキー、ソフトの立ち上げ方、WiFi のつなげ方等」(CAD・NC 機械科修了者採用企業)
 - IT 関連職種を目指す訓練コース以外においても、PC の利用リテラシーを最低限保証するカリキュラムの設定は必要であろう
- ◆ 資格の取得
 - 「採用時に IT パスポート、基本情報技術者等の資格を取得していると個人のレベル感のある程度は把握できるので、採用後の方向性についても話が進めやすい。」
(ICT システムサポート科修了者採用企業)
 - 採用時、資格試験を重視しない企業もあるが、あれば採用後配属に関わる
- ◆ 職種・業種に合わせた内容
 - 製造業においては「危険・安全・品質」に対して適切な知識や態度が求められる
 - IT 業界においては問題解決能力やプログラミング能力が求められる

問3 訓練受講の有無を比較して、訓練受講者に期待していること

全般的に訓練受講者のスキルに満足している意見が多い。

- ◆ 就職ターゲット職種の基礎的なスキルを前もって習得していること
- ◆ 問題解決能力があること
 - 「ICTを活用して仕事をする場合、俯瞰でフローを理解し問題解決する力が必要。また、それを発信する力。まずは、その力をつける必要がある。」
(ICTシステムサポート科修了者採用企業の意見)
- ◆ 仕事に対して意欲があること
 - 「訓練修了生の方には、訓練を通してパソコンやコンピュータが好きだという感覚を持った方に期待します。」(ICTシステムサポート科修了者採用企業の意見)

今回のアンケート調査では、回答企業の業種・職種によって、相反する意見が認められた。

- ◆ 相反する意見の具体例（どちらもCAD・NC機械科修了者採用企業の意見）
 - 「我が社は『未経験者可』との採用条件で採用しておりますが、この場合の人材が修了者の方のレベルに至るには早くても3ヶ月～4ヶ月は要します。」
 - 「弊社では構想検討、組図作図、部品作図と設計業務だけでも色々な知識が必要になるので、訓練の有無での差は少ないような気がします。」

問 4 職業訓練全般について

全般的な意見として、職業訓練の制度自体には高評価である。

- ◆ 興味のある求職者の発掘に役立っている
 - 「今後も興味がある人達が機械設計の世界に挑戦できるきっかけを作って頂ければと思います。」(CAD・NC 機械科修了者採用企業の意見)
 - 「(前略) やはりパソコンやコンピュータが好きだという感覚を持った方を発掘していただくと非常にありがたいです。」
(ICT システムサポート科修了者採用企業の意見)
- ◆ 訓練コースの分野をもう少し細かく分け、内容を絞る必要があるのではないか
 - 「色々な訓練を行うことができた反面、一つの訓練に対する理解度が低くなってしまうと本人から聞きました。様々なスキルを身に付けるため仕方ないとは思いますが、分野・コースをもう少し細かく分けても良いかと思いました。」
(CAD・NC 機械科修了者採用企業の意見)
- ◆ 新規訓練コースの要望があった
 - 「塗装工の育成コースを設けて欲しい」、「研磨加工機の操作ができる人材育成 コース」、「機械要素を取得した人材を育ててもらいたい。」
(いずれも CAD・NC 機械科修了者採用企業の意見)

5-3 訓練受講者の意見

各訓練コースを修了した訓練受講者に対して実施したアンケートをまとめた。アンケート対象者数および回答者数については下表に示す。「関連職種への就職者」と「関連職種以外への就職者」に分類して集計している。

訓練科名	関連職種		関連職種以外	
	対象者数	回答者数	対象者数	回答者数
CAD・NC 機械科	20	15	6	2
CAD・ものづくりサポート科	5	2	8	6
ICT システムサポート科	11	6	5	3
WEB プログラミング科(短時間)	3	3	4	2
Web デザイン科(短期間・短時間)	3	3	2	2
Python が学べるシステムエンジニア科(短時間)	3	3	1	0
VBA プログラミング科	0	0	6	4
計	45	32	32	19

以降にアンケートの回答方法およびその分析を示す。

問 1-1 職種と仕事内容 (参考)

問1-1 現在の職種と仕事内容を記入してください。

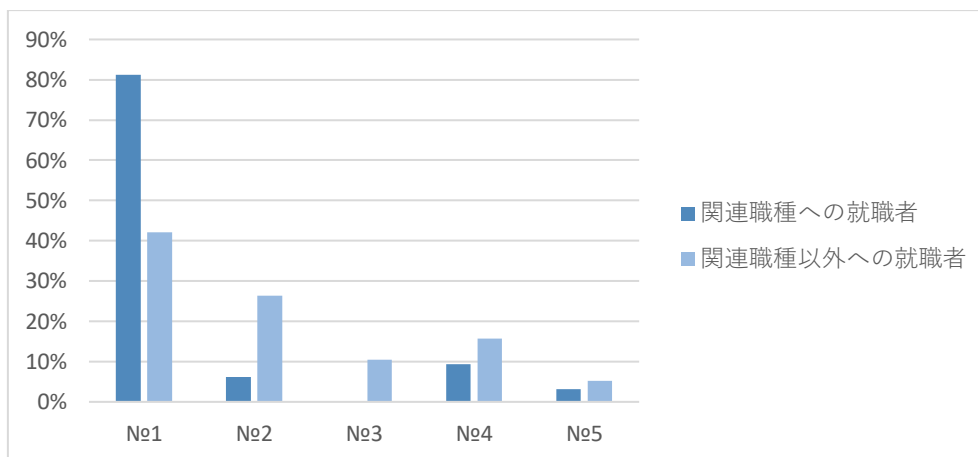
(職種名)	<input type="text"/>
(仕事内容)	<input type="text"/>
※記入例	(職種) 施設介護員 (仕事内容) 高齢者施設において入浴や食事の介助等を担当している

問 1-2 雇用形態

問1-2 雇用形態を教えてください。(一つ選択し、選択肢の数字の左側に○をつけてください)
選択肢「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容を記入してください。(以下、同じ。)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 正社員 | 4 パート |
| 2 契約社員 | 5 その他 () |
| 3 派遣社員 | |

以降の縦棒グラフは、それぞれの系列（関連職種・関連職種以外）に対する比率を示している。



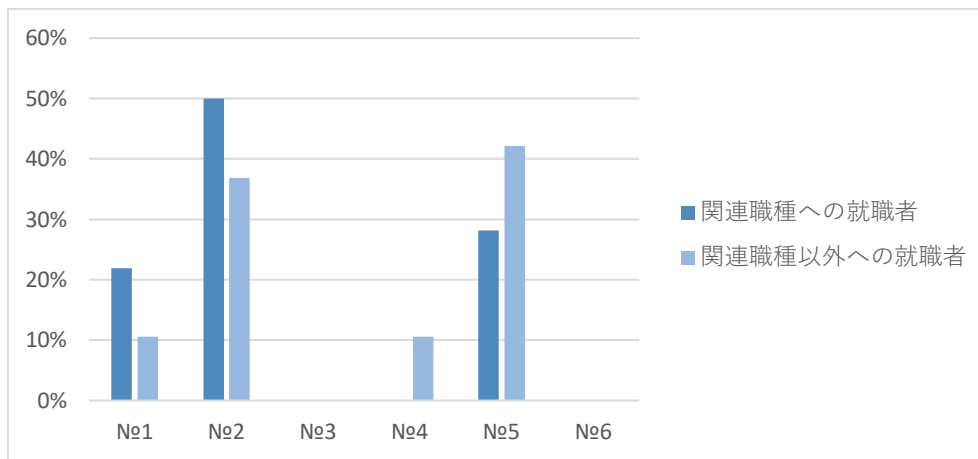
※「その他 (No.5)」と回答したのは、関連職種への就職者で1名（自営）、関連職種以外への就職者で1名（自営）である。

それぞれの回答者に占める正社員の割合は、関連職種への就職者は約80%と大半を占めているのに対し、関連職種以外への就職者は40%となっている。

問 1-3 訓練受講理由

問1-3 訓練を受講しようと思った理由は何ですか。(一つ選択し、選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 知識や経験はあったが、学び直したかったから
- 2 知識や経験はなかったが、就職に必要だと思ったから
- 3 求人が多い分野の訓練だったから
- 4 資格の取得につながると思ったから
- 5 独学では難しいと思ったから(経費面含む)
- 6 その他 ()



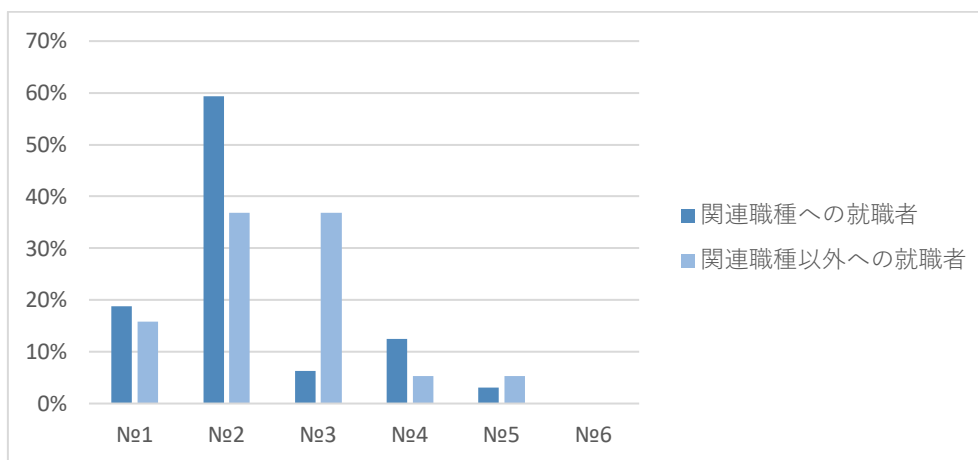
※「その他 (No.6)」と回答した者はいなかった。

No.2、No5 の回答が多く、再就職にあたり知識・技能の習得のために訓練の受講を希望している。

問 1-4 訓練申込時点における訓練内容の理解

問1-4 訓練申込時点で訓練内容(カリキュラムや仕上がり像など)について理解できていましたか。
(一つ選択し、選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 しっかり理解できていた
- 2 理解できていた
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり理解できていなかった
- 5 理解できていなかった
- 6 その他 ()



※「その他 (No.6)」と回答した者はいなかった。

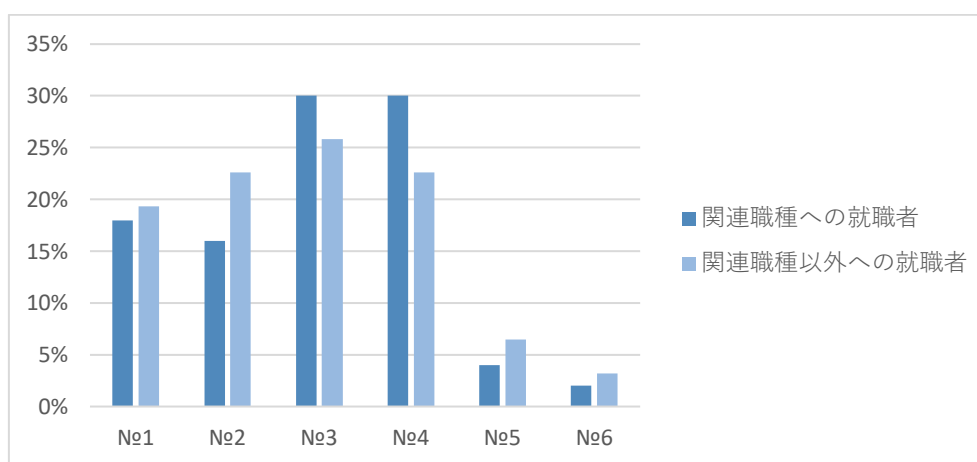
関係職種への就職者は、訓練申込時点から訓練内容に対して「しっかり理解できていた・理解できていた」としている回答者は約 78 %となっており、関係職種以外への就職者は、約 53 %と半数程度である。

問 1-5 訓練選択時に必要な事項

問1-5 自分に合った訓練を選択するために必要だと思うものは何ですか。

(あてはまるもの全ての選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 訓練の見学や説明会の機会を確保してほしい(充実してほしい)
- 2 訓練の見学や説明だけでなく体験の機会を設けてほしい
- 3 訓練内容の詳細や訓練修了時の仕上がり像について分かりやすい資料や説明がほしい
- 4 実際に訓練を受講した方の就職状況や体験談が聞きたい
- 5 訓練の申込みまでにキャリアコンサルティングなど相談をじっくり行いたい
- 6 その他()



※「その他 (No.6)」と回答した者はいたが、いずれも自由記述欄への記載はなかった。

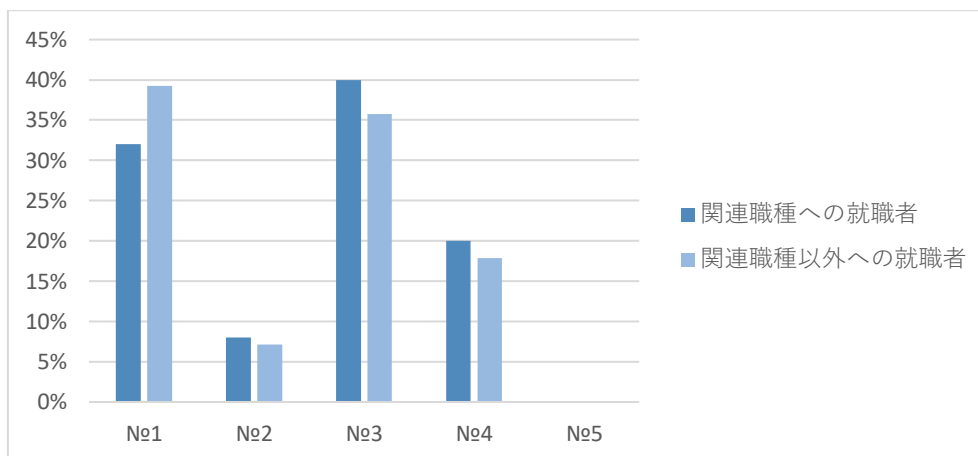
No.3、No.4 の回答者がそれぞれ約 30%いた。No.1、No.2 においても 15%を超える回答を得ている。

また、昨年度の効果検証において、訓練実施機関より「訓練を受講しても就職の方向性を定めることができない訓練受講者が一定数存在するため、訓練申込前までにキャリアコンサルティングを実施し、ある程度の就職先の方向性を決めてから受講させてほしい」といった意見があった。

問 1-6 訓練開始時点における不安事項

問1-6 訓練開始時点で不安だったことはありますか。(あてはまるもの全ての選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 訓練の内容やレベルについて
- 2 訓練に欠かさず出席できるかについて
- 3 訓練受講後の就職・就職活動について
- 4 訓練受講中の収入など経済面について
- 5 その他 ()



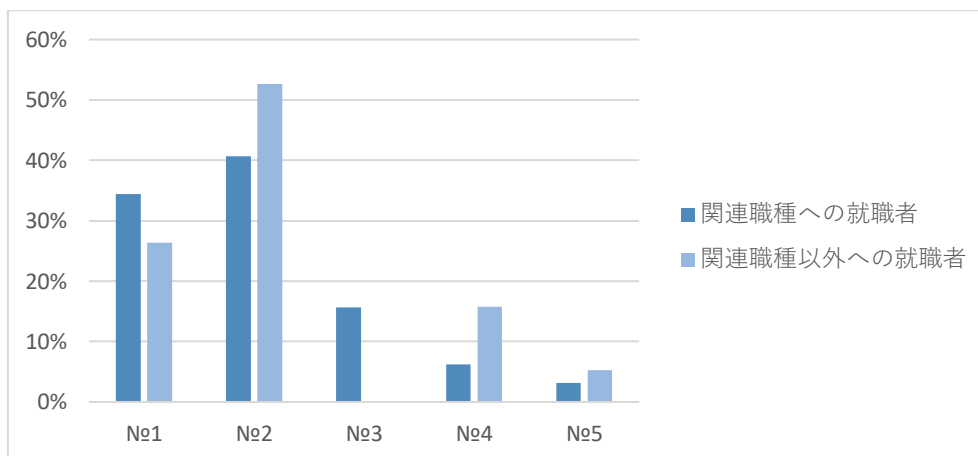
※「その他 (No.6)」と回答した者はいたが、自由記述欄に「不安なし」と記載があったため除外した。

訓練受講者が受講開始時に感じる不安として、No.1「訓練の内容・レベルについて」、No.3「訓練後の就職・就職活動について」が30%を超えている。

問 2-1 職業訓練の仕事に対する役立ち度

問2-1 訓練で学んだことは、全般に、仕事をする上で役立っていますか。(一つ選択し、選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 とても役立っている
- 2 役立っている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり役立っていない
- 5 役立っていない



「とても役立っている・役立っている」と回答した関連就職への就職者は 75 %、関係職種以外への就職者は約 79 %と同程度である。

関連職種への就職者

自由記述欄に記載された「役立ったもの」を要約した。

- ◆ 各訓練コースに概ね共通するもの
 - 全般的な PC 操作 (Excel、Word など)
 - 訓練で扱う基礎的な内容
- ◆ CAD・NC 機械科
 - 現場で使われている工具の役割をすぐに理解できた
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - 2D/3D 問わず CAD の使い方・概念
- ◆ ICT システムサポート科
 - 産業用コンピュータ (PLC)
 - 生産管理を含めた業務システムの概念
- ◆ WEB プログラミング科 (短時間)
 - WEB サイトの仕組み
- ◆ Web デザイナー養成科 (短時間・短期間)
 - レストランにおける注文システムの開発に Web デザインが役立った
- ◆ Python が学べるシステムエンジニア科 (短時間)
 - 基本情報技術者試験対策の知識

自由記述欄に記載された「あまり役立っていないもの」を要約した。

- ◆ 各訓練コースに概ね共通するもの
 - 就職業界や配属先職種で使用しない訓練内容全般
- ◆ CAD・NC 機械科
 - 機械加工や CAD 全般
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - 簿記
- ◆ ICT システムサポート科
 - 全体的に浅く広く学んでいたので実践に役立てない
- ◆ Web デザイナー養成科 (短時間・短期間)
 - 基礎的なことが多く、学んだことだけで実際に働くことは難しい
 - コーディングは期間が短すぎて仕事では使えない
- ◆ Python が学べるシステムエンジニア科 (短時間)
 - データベース関連 (組込み系エンジニア)

関連職種以外への就職者

自由記述欄に記載された「役立ったもの」を要約した。

- ◆ 各訓練コースに概ね共通するもの
 - 全般的な PC 操作 (Excel、Word など)
 - 訓練で扱う基礎的な内容
- ◆ CAD・NC 機械科
 - 統計の考え方 (機械公差・誤差、偏りやばらつき等正規分布)
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - 簿記の考え方
- ◆ ICT システムサポート科
 - 品質管理における専門用語
- ◆ WEB プログラミング科
 - Web デザイン等に役立つ素材サイトの情報
- ◆ Web デザイナー養成科
 - 広告デザイン等における文字や写真のバランス
- ◆ VBA プログラミング科
 - IT パスポートの試験対策

自由記述欄に記載された「あまり役立っていないもの」を要約した。

- ◆ 各訓練コースに概ね共通するもの
 - 就職業界や配属先職種で使用しない訓練内容全般
- ◆ CAD・NC 機械科
 - 機械加工、CAD 全般
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - CAD、PC ソフト
 - 金属加工の実技
- ◆ ICT システムサポート科
 - プログラミング全般
 - 工場内システム (注：おそらく PLC のこと)
- ◆ WEB プログラミング科
 - Web プログラミング、マーケティング
- ◆ Web デザイナー養成科
 - HP 作成やマーケティングに応じたデザイン等
- ◆ VBA プログラミング科
 - プログラミング全般
 - 基本情報処理技術者の試験対策

問 2-2 訓練でより学んでおくべきだったスキル等

次のような問いに対する自由記述の要点をまとめた。

就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等について具体的に記載してください。

関連職種への就職者

関連職種への就職者においては、「より実践的なスキル」を学んでおけばよかったという意見が多かった。

- ◆ CAD・NC 機械科
 - 定められた設計条件から部品の寸法を決定し、図面を作成する技能
 - 汎用機における段取りや工程を組む技能
 - 5S などの管理方法
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - 働くことに繋がる応用的な力（注：詳細は不明）
- ◆ ICT システムサポート科
 - 基本情報技術者試験など資格の勉強
 - データベースの知識、SQL 言語
- ◆ WEB プログラミング科
 - WordPress の知識、土台となる言語
- ◆ Python が学べるシステムエンジニア科
 - データベースの知識、VBA

関連職種以外への就職者

関連職種以外の就職者においては、基礎的な PC 操作や表計算ソフトの関数の活用について学んでおけばよかったという意見が多かった。より実践的な訓練内容を希望する回答は少なかった。

- ◆ CAD・NC 機械科
 - 表計算ソフトの各種関数（VLOOKUP、RANK 関数等）
- ◆ CAD・ものづくりサポート科
 - POP の簡単な作成方法
 - 図面を短時間で作図するスキル
- ◆ ICT システムサポート科
 - Excel
- ◆ WEB プログラミング科
 - Adobe Illustrator や Photoshop
- ◆ Web デザイナー養成科
 - 文字組や DTP についての知識
- ◆ VBA プログラミング科
 - IT パスポートの試験勉強
 - エクセル、ワードのスキル

問3 訓練実施機関やハローワークが実施する就職支援

次のような問いに対する自由記述の要点をまとめた。

訓練施設、ハローワークが実施する就職支援の中でよかったものについて具体的に記載してください。

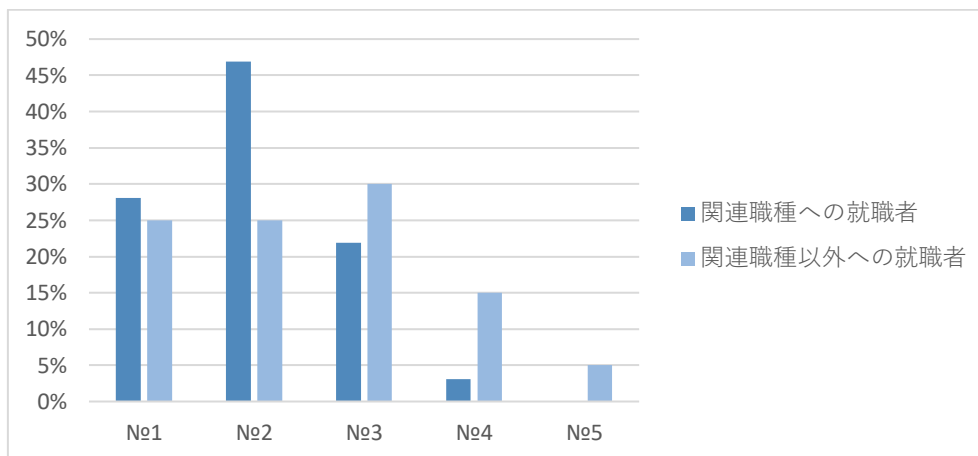
実施機関に関わらず、応募書類の添削や就職相談ができたことに対して、全般的に良い評価がされている。

- ◆ 岡山職業能力開発促進センター
 - オンライン会議システムを使用したオンライン講習
 - 応募書類や面接に対する具体的なアドバイス（添削、写真の撮り方、面接時の対応）
 - 公開求職者情報による指名求人の制度
- ◆ エヌティ・クリエイト
 - 進路や不安なことを相談できたこと
 - 応募書類の記入方法・添削
 - オンラインでの授業のため、たまにあるグループミーティングコミュニケーションが唯一とれる時間で、日々の授業を頑張るための活力となりました。
 - 企業インタビュー
- ◆ AKI 情報コンサルタント
 - 履歴書の添削

問 4 働き方や仕事内容に対する満足度

問4 訓練受講前と比較して、現在の働き方や仕事内容の満足度を教えてください。(二つ選択し、選択肢の左側に○をつけてください)

- 1 とても満足している
- 2 満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない



「とても満足している・満足している」と回答した関連就職への就職者は 75 %、関連職種以外への就職者は 50 %である。

問5 職業訓練全般について

関連職種への就職者

- ◆ 職業訓練制度について
 - 前職も年齢も違う人達と同じ訓練ができたことが非常に良かった
 - 一から手で作ることでその作業の大変さややりがいを経験できるから、金属加工の講義での加工機全般の訓練は良かった
 - 例え訓練内容を活かすことができなくても、「学んでできるようになった」こと自体が就職後の自信につながると思う
- ◆ 講師の指導について
 - 講師の指導方法に差がありすぎる
(未経験者の前提知識を無視する先生、履歴書を書けとしか言わない先生がいる。)
- ◆ 訓練環境について
 - パソコン教室で板書ではなく中央のモニターで授業を進めてくださった時は、一番後ろの席でも見やすく助かりました
 - 訓練受講者のレベルに応じてコースを分けるなどもあると良いと思いました
- ◆ 訓練期間について
 - 1日の訓練時間をもっと長くしてもよいのではないかと
 - 受講期間が短く、完全に覚えきれなかった
- ◆ その他
 - 就職後も資料や教材が欲しい
 - S Eでもポートフォリオが就活で必須なので、それを踏まえたカリキュラムにした方がいいと思います

関連職種以外への就職者

- ◆ 訓練受講前の情報提供について
 - 訓練内容を十分理解した上で訓練を受講した方がよかった
 - 訓練の体験ができるのであれば、参加した方がよかった
 - 訓練の説明会や体験会があった方がよかった
- ◆ 職業訓練制度について
 - 職業訓練の制度をもっと宣伝した方がよい
 - 目標とする職種の内定をとれて有意義な訓練期間になった
- ◆ 訓練期間について
 - 訓練期間をもう少し長くしてほしい
 - 1か月という期間は内容が詰め込みすぎて、未経験者には分かりにくかった